

上建第20-1152号  
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 殿

上野原市長 奈良 明彦



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったことについて、別紙のとおり回答いたします。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ①道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

山梨県上野原市

## (意見)

1

行革推進法等に基づき道路特定財源が一般財源化になりましたが、まだまだ地方においては、道路整備を必要とする地域があり、公共事業性を悪説に基づく極論ともいえるが、キツネやタヌキしか通らない道路ばかり作っているという、無駄遣い批判も聞かれるが、しかし、個々の極端な事例をもとに全国の道路全てが無駄遣いと決め付けるような主張は合理性を欠く。まだまだ、地方においては、道路整備を必要とする地域があり、道路が自動車によって利用されるばかりでなく、歩行者による利用、公共諸施設の増設、防災への貢献など自動車以外の利用を通じて道路が恩恵を与える存在は計り知れないものであります。今後更に地方道路の整備について推進していかなければなりません、道路特定財源は一般財源化になりましたが、今まで同様に財源対策が必要である。

2

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であります。高齢化、少子化が進展している中、活力ある地域づくり・まちづくりを推進するため、道路の整備はより一層重要となっています。

安全で安心出来る暮らしの実現、また、地域格差の解消、地域内の活性化を図るため、私共の地域においても道路整備に対し住民から強い期待が寄せられています。しかしながら、道路整備にあたり、費用対効果(B/C)等が災害輸送指定道路を受けながらも改良ができない箇所や、急峻の所を通勤・通学で通らなければならない箇所が沢山ある中で、早急に整備をしなければならない。しかし、今の政策では厳しい現状ですので、今後財政政策・交通政策の基本的な観点からの抜本的な見直しが必要である。

私共の地域の現況ですが、主要地方道四日市場上野原線については、旧秋山村と旧上野原町を結ぶ唯一の道路であります、両町村を結ぶ天神トンネルが未だに大型バス等が通れず乗用車のすれちがいも出来ない状況にあります。次に主要地方道上野原丹波山線については、小菅村・丹波山村からの国道20号線に結ぶ生活道路、災害輸送指定道路にもかかわらず、急峻な地形もあっていつ災害がおきるかもしれない道路を現在生活道路として利用しています。県道上野原あきるの線は東京都あきるの市と上野原市を結ぶ道路であり、生活道路、経済・社会活動を支える道路にもかかわらず、急峻な地形もあっていつ災害がおきるかもしれない道路を現在生活道路として利用しています。県道野田尻四方津線については、大月市に結ぶ道路であり、生活道路、経済・社会活動を支える道路にもかかわらず、急峻な地形もあっていつ災害がおきるかもしれない道路を現在生活道路として利用しています。また、市内の国道20号線が渋滞するため、バイパスに変わる県道新田松留線も残り約2kmで国道20号線に通じる為、防災の観点からも大きく期待されている道路ですので早急に実施していただきたい。今掲げた路線以外も同じ現況であります、すべて早急に道路改修事業をしなければならないが、国の基準の費用対効果(B/C)等の基準によりできない状況でありますので、早急に改善し地域格差の解消を図っていただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

山梨県上野原市

(要 望)

- 1 国道20号線の四方津駅より大月方面に150m先の陸橋が狭く大型同士がすれ違いができず、混雑しやすい場所ですので、改良していただきたい。
- 2 国道20号線の上野原市(四方津)と大月市(梁川)の境の大呼戸橋が狭く大型同士がすれ違いができず、混雑しやすい場所ですので、改良していただきたい。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ②－１ 地域の現状と抱える課題

山梨県上野原市

## ○ 現 状

市内の中心部を国道20号線が通っていて、上野原署東の交差点の信号から新町交差点までの信号まで約1km間に、信号5箇所があり大変渋滞するエリアとなっています。

## ○ 課 題

国道からそれぞれの路線に、右折及び左折するゾーンがないために、流れが悪く渋滞する要因になっている。その為、通勤・通学に支障をきたしている。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ②ー2 地域の目指すべき将来像

山梨県上野原市

## (安全・安心なまちづくり)

本市は、周囲を山で囲まれた複雑な地形で構成され、急峻な箇所が多く、地震、暴風、豪雨、地すべりなど極めて多様な自然災害が発生しやすい地域です。また、近年の社会、産業構造の多様化に伴い、建築物の高層化、住宅地の密集化等により、大規模災害の発生についてもその危険性が高まっています。

そのため、災害の軽減には、危機管理体制を強化し、その被害を最小限に抑えるための取り組みをさらに充実させることと、スムーズな道路交通網づくりの観点から、国道20号を中心とし、それにつながる県道・市道等の道路環境の整備が必要であり、誰もが安全に、かつ快適に暮らせるまちづくりを目指す。

## 今後の道路行政についての意見・提案

## ③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山梨県上野原市

| ○重点事項                                                                              | ○代表事例                                                                                                                      | ○期待する効果や評価等                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ○その他 |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| <p>・地域活力の向上</p><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><p>・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化</p> | <p>中央高速道路談合坂サービスエリア内に、スマートインターチェンジの設置</p><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><p>中央高速道路上野原インター千エンジから八王子ジャンクションの6車線化</p> | <p>○期待する効果や評価等</p> <p>・談合坂サービスエリアは上下線ともに、首都圏から60分ほどに位置し、集客力は高速道路のサービスエリアの中では抜群の集客をようしています。<br/>当地周辺には工業団地があり、地域経済の活性化や観光の振興、住民の利便性の向上や地域活性化に大いに図れる。</p> <p>・高速道の整備は、日本の経済発展に大きく寄与してきたが、一方で首都圏への交通集中をもたらし、その解決策として、環状道路の整備が進められている。<br/>しかし、中央自動車の最大渋滞箇所である小仏トンネルについては、環状道路の外側に位置し、環状道路の整備効果は波及されず、首都圏放射五道他の中でも渋滞規模はワースト1である。<br/>渋滞が解消できれば、観光・産業の発展などに資する。</p> |      |